

# 問われる3つの問題

あなたの思いにこたえる政党・議員は

日本共産党議員はこうします

放射能汚染

「原発ゼロ」を発信するかどうか

●放射線量の測定を徹底し、迅速な除染をおこない子どもを守ります

北茨城市(0.19マイクロシーベルト)／時Ⅱ年間1ミリシーベルト(並みの厳しい基準で除染します)。

※年間1ミリシーベルトは、1時間当たりに換算すると0.19マイクロシーベルトになります。

●原発による損害は、東京電力と国の責任で全面賠償させます

東電の茨城本店に直接行つて要求。引き続き力をつくします。

●住宅用の太陽光発電設置に助成させます

●農産物の放射能測定器を購入させます

●高萩市から30キロの老朽化した東海第2原発は廃炉に

東海村の村上村長が国に廃炉要請。その姿勢を応援します。

※いずれも議会で取りあげ、実現を迫りました。

防災の高萩市にするには

●防災無線を市内全域に設置させます

震災・津波では、情報の伝達が一番大切です。

●小・中学校や公共施設の耐震化を促進させます

子どもは市の宝です。何よりも最優先させます。

●新・市役所をどうするかは住民合意です

市民生活と防災の拠点でもあり、慎重に検討すべきです。

くらし・福祉をどうするか

●中学生までの医療費無料化を実現させます

市の試算でも、あと2千万円(市の一般会計の0.16%)で実現できます。

●国保税・介護保険料の値上げをおさえます

市民や高齢者を苦しめる増税には反対します。

●デマンド(乗合)タクシーの実現させます

高齢者や障害者が自宅から目的地まで低料金で行けます。

●ゴミ処理問題の早期解決を求めます

市の長年の懸案です。先送りはできません。



## 議員を選ぶ基準は

世代交代の声も出ていますが、議員を選ぶ基準は、やっぱり公約ではないでしょうか。現職なら実績もためられます。

10月30日 高萩の選択の日

いま、市民のくらしは…

- ・保険料がアップされたら生活できない(60才代男性)
- ・交通の便がわるく、タクシー代が大変(70才代女性)
- ・税金や学費・医療費の出費が大変(40才代女性)

\*日本共産党高萩市委員会がおこなったアンケートに寄せられた声

市民の力で新しい流れを

日本共産党

高萩民報

2011年10月号外 発行/日本共産党高萩市委員会 高萩市本町4-54 電話・Fax 22-5525  
ホームページ <http://www15.ocn.ne.jp/~t-shozo/>

